



生命尊重推進の会

NPO法人 天使のほほえみ

第8号 平成20年11月20日 発行

お友達をお誘い下さい

年会費 個人 一口 千円以上
法人 一口 五千円以上

郵便振替口座

00100-6-316987

特定非営利活動法人 天使のほほえみ

発行所

NPO 法人
天使のほほえみ

発行人 鎌田久子

編集人 菊池光男

祖国日本の再生を目指して

「子供」は「国の宝」の信念を多くの同志に

理事待遇 南郷良太（京都府）

不思議な御縁に導かれ、とでも申しましようか、天使のほほえみの活動に参画させていただくこととなりました。何分若輩者で微力ではございますが全力を尽くしたいと存じます。諸先生方のご指導を、伏してお願ひ申し上げます。今から二年ほど前の平成十八年夏に三好誠先生から「いとけなき命に光を」をご紹介賜り、母体保護法の抜本的改正を柱とする活動と、妊娠中絶という犯罪的行為が我が国において罪の意識もなく常態化している現状を知りました。個人としての力には限りがあり会の活動に何らかの形でお手伝いをしたいと考えておりましたところ、この度私の地元の宇治市において第一回の拡大合同幹部会が開催されることとなり、その会場設営が私の初仕事となりました。当日は挨拶の時間も賜り誠にありがとうございました。

そもそもこの問題の根源にやはり戦後体制の影があることを学びました。日本国憲法や皇室典範、制定当初の教育基本法と同等の問題が母体保護法に存在することを考えますと、アメリカの日本に対する真意が見えてくると思います。日本人は戦後、戦争終結まで非人道的な空襲と原爆投下を行ったアメリカから一転して多くの援助を受け、戦後の経済復興を遂げました。これは単に物乞いの復興ではなく、天皇陛下の御聖断のもと、我が民族のために戦闘を止め、不本意ながらも敵の援助を受け入れて我が国の復興に命を懸けてこられた戦前生まれの大和魂をもった真の日本人の偉業であったと私は理解しています。しかし現下の情勢は、先輩方の努力を理解せず、「恩を仇で返す」仕打ちを行っています。戦後体制は歴史教育の歪曲化や皇室軽視、独立自尊の心構えを完全に喪失させるなど、もはやそれは完成の域に達しようとしていきます。この深刻な事態に政治は適切に対処する能力を完全に失ってしまいました。

このような時代にこそ、国民運動こそが我が祖国日本の再生に最も大きな力を発揮すると、私は確信を持っています。かつて徳川幕府が国政の舵取りに行き詰った時、全国の草莽が真の国体の在り方を論じ、自ら行動することで明治維新を起しました。現代にあってもその本質は同じだと思えます。

国の担い手としての「子宝」は国の宝だという常識を、天使のほほえみの活動の中で多くの同志に伝えてまいりたいと思っています。悪法の男女共同参画基本法の廃棄や母体保護法の「胎児保護法」への大改正（以下第二面へ）

流産児供養祭・拡大合同幹部会報告

宇治の流産児供養祭に参加

事務局長 野田富美子

戦後母体保護法の犠牲となった二億二千万人の流産児を供養したい、との理事長の愛深い発案により首都圏より七名、現地参加五名、計十二名の幹部にて去る九月十三日午前宇治一般練成に参加した。宇治では長きに渡って毎月全国流産児無縁霊供養月並祭を行って下さっている。今回天使のほほえみ幹部一同初めてそれに参列して心を込めて供養ができ、心温まる思いがした。

午後より宇治にて、参加者十名で「第一回拡大合同幹部会」を行った。

・地方で数多く講演会を開催したいが講師謝礼・交通費など多大なお金が掛って困る・地方議員へのこの運動の啓蒙・協力要請の体験発表ーなど貴重な意見が出た。皆でこの運動への熱い思いの交流ができ、この結果を今後の活動に生かしていきたいと思う。

お友達をお誘い下さい

年会費 個人 一口 千円以上
五千元以上

郵便振替口座

00100-6-316987

特定非営利活動法人 天使のほほえみ

(住所変更の際は是非ご連絡下さい)

(第一面下段より)

について、草の根の保守活動の柱の重要な一つと位置づけ、さらに活動が充実されることを願ってやみません。

「正しい恋愛・結婚観、正しい性モラル、中絶阻止」の普及に私自身も実践者の一人として、とりわけ若い世代に教育改革と共に浸透させて、我が日本の真の復興のために微力ながら死力を尽くすことをお誓い申し上げ、皆様への御挨拶とさせていただきます。

流産児よありがとう

娘を通じて知った水子供養の大切さ

橋本あき江 (千葉県)

「命というものは受胎した時から」と解釈していましたが、世間一般では母親のお腹から出た時からと考えられています。しかし私は自分の体験から「生命は永続性があり顕幽両界を通じて生き通しである」ことを学びました。

今から二十五年前、娘が小学五年生の時のことです。時々

私の体に擦り寄ってきて、「ママ魂ってあるよね」とか「魂って信じる？」などというのです。私は「信じているよ」と言っていてテレビの話を話してあげました。しかし六年生にな

ってからは「水子が??、水子が??、水子が何を言っているのかわからない?」と言いつたのです。私から言わせると、水子などと言う言葉は子供の言う話ではないと思うのですが……。そしてテレビで運命を呪ったり、怨霊の出でくるような怖い映画ばかり見るようになったのです。それ迄は明るい少女のお話が好きで、テレビの番組も健全なものばかりでした。

あまり「水子がどうした」とか言うので、私は「あさ子ちゃん、ママは水子のような可哀そうなことはしないから安心なさい」と言ったのです。それは六年生の終わり頃でした。娘はそれっきりその事についてだけではなく、家族と口を聞かなくなり、ますます怖いテレビを見ているのです。しかし友達と一緒にの時はずっと普通でしたので、つい私は忘れていました。

中学に入り、だんだん不穏な言動になり、いじめにもあつて

いたようです。非行と言う程ではないのですが、無気力になっていくのがわかりました。受験のことも決めねばならない頃になって、私も困ってしまい、生

長の家で相談したのです。当時「流産児よ安らかに」の本を読んでいた私は、「子供が水子、水子と言うけれど、流産も墮胎もしたことはありません」子供の非行と流産児と関係があると言われていますが、どうしてでしょうか」と講師の方に尋ねました。講師のお話では、「自分で気がつかない自然流産児でも結果は同じだ」とのことでした。そう言えば生理が遅れていた、その後小さな血の塊が降りましたので、遅れた分纏まって降りたのだ、と思っていました。水子は自分の存在を知らせるために、娘を通して十年も経ってから伝えてきたのです。

私は母に頼んで供養してもらいましたところ、娘はすぐに元気になり、友達を誘い塾に通って勉強し、高校も無事に入学しました。

しかしほっとしたのも束の間で、また愚図愚図し始めたのです。私としては墮胎した訳でもないし、ちゃんと供養したのに

なんでこうなるのかと思いましたが、そして自分は悪くないと思

っている間は事態は好転しませんでした。私は結婚したら二人の子供を戴くのは、人間としての義務だと思っておりましたので、下の子を産んでからは墮胎と言うことにならないように気をつけていました。でもよく考えてみると絶対安全だと思つた、一回だけ避妊をしない日があつたのです。この事を思い出した時、娘を通じて必死に自分の存在を訴えた水子の気持ちに私はなんて冷たい母親だったと。水子に懺悔し謝りました。その日から私は「子供は三人、家族は五人」と心に決め、仏壇にも言葉を掛けお供えする様になりました。すると娘はいつの間にか正常になつておりました。

私の体験を通して今の世相を見ると、殺人や倫理・道徳の欠如、生命軽視の風潮は水子の問題と関連があると思います。一刻も早くこれを是正して行かなければならない。これからも私なりにこの運動に協力してまいります。

「胎児保護法」制定に向けた取組を
理事 川久保 勲 (静岡県)

自民党の「外国人材交流推進議員連盟」会長の中川秀直氏は六月七日、五十年間で約一千万人の移民を受け入れる提言をした。石原慎太郎氏も三月三十日の産経新聞で、日本人は元々多国籍民族だから人口減少に対処するのにどんどん移民を受け入れても問題ないと主張した。

しかし昔は小さな船で荒海を越えて、長年月をかけて徐々に日本に渡ってきたので、彼らは自然に日本民族に同化されて来たわけである。

しかし、今短期間に受け入れたら、五十年間に一千万の外国人を日本に同化できる筈がない。ドイツは一九五〇年代から労働力不足を解消するために積極的に移民政策をとり、二〇〇五年には中川氏の掲げる数の一千万人を超えた。しかしドイツは九・一一テロ以降は治安の悪化に反省して、国籍取得に当たって、「ドイツの歴史、文化等に関するテスト」を実施する方向に向かっている。

(以下第三面に続く)

(第二面下段より)

諜報機関もなく、スパイ防止法もない、基本的国家の体を為していない日本で、これと同じことをすれば、長野での聖火リレーの悪夢が再現される。これを唱える中川秀直氏は売国に加担するものであり、石原慎太郎氏は売国奴ではないと思うので、心中極めて不可解である。

人口減少に歯止めをかけ、しかも日本人の精神を浄化する、一石二鳥の方策こそ「天使のほほえみ」の運動である。占領中の昭和二十三年、日本民族を減らすために制定された優性保護法、平成八年に母体保護法と改正されたが、これは経済的理由でも胎児を抹殺できるものである。戦後殺害された胎児は一億人と言われている。

随胎は明らかに殺人である。逃げ道のない子宮内で殺される胎児の無念さは如何ばかりであろう。

近年の青少年による異常な犯罪の多発は、間違いなく随胎の影響を受けていると思われる。

私も「生長の家」に触れる前、夫婦共稼ぎであったので、無知のため、何の罪悪感も覚えることなく、第二子を随胎してしまつた。その後、合わせて三人の男子に恵まれたが、一番気の優しかった次男から、登校拒否、家出、借金と大変苦労をかけさせられた。宇治別格本山で流産児の永代供養をしたところ、直ちに正常に戻つた、という経験をした。

既に、生命を授かっている胎児を殺害することを認めている母体保護法の替わりに、「胎児保護法」を制定すれば、間違いなく人口減少に歯止めが掛かり、日本社会も浄化されるであろう。胎児抹殺の母体保護法は国体破壊の「憲法」と族制度崩壊の「遺産相続法」と並ぶ戦後日本の三大悪法の一つである。

有村治子参議院議員が最初からこの運動に賛同されているが、もつと多くの議員に目覚めて欲しいものである。

子育て体験記
息子を「神の子」と信じて育てる
柴田美子（神奈川県）

私は子供の頃体が弱く、病氣ばかりしていました。そんな私でも成人後、縁により結婚、妊娠しましたがが胎児として定着せず、三回も流産を繰り返しました。医者からは「子供はもう諦めなさい」と言われましたが、どうしても子供が戴きたくて六ヶ月間入院を繰り返しながら、ついに元気に男子を出産することが出来ました。小さく産まれたのですが、母乳が沢山出て元気に育ちました。もう可愛くて可愛くて、宝物でしたので大切に育てました。息子は中学生までは人気者で、友達も多く、誰からも好かれました。そんな折主人が倒れ、心筋梗塞で他界してしまいました。その影響があったのか、息子は高校に入学して間もなく不登校になり、学校から呼び出しの電話で何度も先生と話し合いました。十五才で煙草も吸うようになり

、「退学した方がよい」とまで言われましたが、私は絶対に卒業させたい思いで一杯でした。息子がこのように変わってしまったのは、私自身に原因があることに気付き、自分で諦めた種は自分で刈り取るの決意のもと、それからは息子とよく話し合いをして信じて味方になるようにしました。それ迄は息子に大きな期待をかけ、「人に笑われないように」と一寸したことでも厳しく叱りました。誉めることはなく、いつもいつも叱つてばかりでした。

息子とよく話し合い、信じて生活するようになってからは、息子はどんどん変わって行きました。私は学校にお願いして、夏休み冬休みに登校して遅れを取り戻し、卒業することが出来ました。

その後、息子は知人の紹介で現在の会社に入社すると共に、「悩みを抱える人のために少しでもお役に立ちたい」と、毎週日曜日東京まで勉強に行つております。高卒だけの息子は人の

何倍もの努力が必要と本人も考え、時間が許す限り勉強しています。そのおかげでどんどん知識も豊かになっております。

過去を知らない人や近所の若いお母さん方は、「素晴らしい息子さんですね。どんな育て方をしたのですか」と、よく聞かれます。そんな時は「色々あります。そんな時は「色々の話を聞いて、明るく笑い、信じ合い、味方になるように過ごしてきました」と答えるだけです。二人だけの家族ですが、毎日が楽しく感謝の生活です。

原稿掲載集中

子育て体験、育児法、その他会員の声を事務局まで多数お寄せ下さい。

胎教博に参加して

理事 久保山弘巳

第三回「胎教博」は今年十月二六日(日)東京・両国のKFCホールで開催されました。私は「胎教博」にはじめての参加でした。「天使のほほえみ」の運動を推進して行く中で、私達も「胎教博」への理解と関心の目を持ちたいものです。「胎教博」そのものの意義・概要を、「胎教博」ホームページから以下の通り紹介します。



皆さんは胎児に意思があるってご存知ですか？ 親から子へ、子から孫へと受けつながらてゆく「こころの歴史」があり、親子の絆づくりの最初の教育は胎教時代からと言われています。胎児にも意思があり、いのちを育む喜びを皆でわかちあい、笑顔広がる子育てと眞の胎教を伝え合う場。それが『胎教博』です。

胎教博は、妊婦さんや育児をしている女性だけのものではありません。これから結婚をする方、赤ちゃんを心待ちにしている方、あなたのパートナー、子育てを一段落された方、おじいちゃん、おばあちゃんなど、すべての人が対象です！

さあ、今年もはじまります！

不安から喜びの生を楽しむには、まずココロとカラダの解放と感謝の気持ちからはじまります。妊婦生活や子育てが不安だったり、いつも心配事や悩み事があったり、なんとなく不安な気持ちをかかえていたり... あなたのインナーチャイルドが叫んでいるのかもしれない。この秋、胎教博であなただのインナーチャイルドを解放してみませんか？

その他、音魂ヒーリングコンサートやメデイテーションワークショップ、専門家による各種セッションなど盛りだくさん。家庭も社会も皆さんも、生命(いのち)を感じてみませんか？ 今年の胎教博も、内容盛りだくさん！。大ホールで行われるステージライブや胎話ステージ、分野の専門家による各種セミナー、子供たちが一日楽しく過ごせるキッズランド、頑張っているママのためのマッサージュやリラクゼーションを楽しめるマミーズガーデン、胎教に関わる各種ブースの出展の5本柱で開催しました。(以上「胎教博」ホームページより抜粋)

会員による「和歌」の紹介

※祖国愛に燃えて※

- パズルのごと 十月三十日 何の日と かけて拵めん 教育勅語
- にせ憲法 今こそ廢棄 無効なり 叫び続けん 一億の民
- 眞実の 情報くらい 世にあれば 耳を飛ばして 目を長くせよ
- いま起てと 靖国の神の み叫びの 聞こえて来るなり 老兵われに

(以上 静岡県・平岡辰夫)

- 天上の 開祖喜び 守り給わん 流産児供養 莊嚴にして
- 戦後初の 天使のほほえみ 会員の まことに触るる 供養見のよるこび
- よるこびて ひかりとなりて 毎い遊び 流産児等昇り行く 姿確かに

(以上 鳥取県・福井貴志子)

- 大地震 力果てにし 国民に 両陛下の言葉 命を注ぐ
- 震災被害者 今上両陛下に悲しみ 抱き取られ 国地方に全霊 尽くす様見る
- 両陛下の支えで 絶対良くなると 言うを聞き 実相権限なる日本を信じ動かん

(以上 神奈川県・野田富美子)

寄付金報告

二十年六ヶ月十一月受付分

- 五千元 南郷良太 様
 - (二月から匿名寄付)
 - 一万円 二名 様
 - 五千元 四名 様
- ご厚意深く感謝致します
ありがとうございます

編集後記

・そろそろ季節は冬本番となりつつあります。会員各位お体には、くれぐれも大切にして下さいませ。
・会報八号をお届けします。本号の内容はいかがですか？次号からは「理事会」等の状況も紹介します。(F)